

第5学年 外国語活動学習指導案

平成31年 2月15日(金) 第5校時

活動場所 教室

指導者 ALT

1 単元名 We can! 1 Unit8 「What would you like?」

2 単元について

(1) 児童の実態

<省略>

(2) 教材観

本題材は、本単元では、英語にも場面に応じた丁寧な表現があることに気付かせることから始まる。レストランという身近な場面を通して、様々な料理などの言い方や、欲しいものを丁寧に頼む表現に慣れ親しむとともに、丁寧な言葉での受け答えや、値段を聞いたり、答えたりしながら自分の考えを伝え合うことを目標としている。これまでの学習で慣れ親しんだ表現や、語彙を使いながら、場に応じた言葉を使ってコミュニケーションをとることの楽しさや必要性を経験することの出来る単元である。

(3) 指導観

本単元では、既習事項の”What do you want?” ”I want ~.”と関連している。実際に HRT と ALT のやり取りを見せることで、”What would you like?” ”I’d like ~.”など、英語にも場に応じた表現があることに気付かせたい。また、それらを使ったゲームを通して、繰り返し発話させ、新出の表現に慣れ親しませていく。HRT と ALT のデモンストレーションから、教師対児童、児童対児童へと、スモールステップを踏んでいくことで、話す活動へとつなげていきたい。帯活動で行ってきた”フォニックス”も児童にとっては発音がわからない時のきっかけになっているため文字や文章の提示も適宜行っていく。話すことが特に苦手と感じている児童にはフォローに入り、安心して活動できるようにする。自分の考えを伝えたり、発表したりすることでこれからの国際社会を積極的に生きるための基礎の育成を目指したい。

3 単元目標

- ・丁寧な言葉で注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりすることができる
- ・丁寧な言葉で注文を尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合ったり、簡単な語句を推測しながら読んだりする
- ・他者に配慮しながら、丁寧に注文を尋ねたり、感想を伝え合ったりしようとする

4 単元の評価規準

- ・相手意識を持って、丁寧な表現や既習の表現を使いながら HRT や ALT、友達の良いものを聞いたり答えたりしようとしている 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・丁寧な表現で欲しいものを尋ねたり言ったりしている 【外国語への慣れ親しみ】
- ・日本語と英語の発音の違いに気づく 【言語や文化に関する気付き】
- ・世界には様々な料理があることや、英語にも場に応じた丁寧な言い方があることに気付く 【言語や文化に関する気付き】

5 研究主題との関連

研究主題：豊かな言語活動を楽しみ、主体的に学ぶ子の育成

学習指導要領の改訂に伴い、主体的・対話的で深い学びの実現が求められている。本学級でも、各教科で学び合い活動を取り入れ、考えを共有し、広め、深め、高め合える児童の育成を行っているところである。本時は、児童にとって難しいと思われる「would you like」「I’d like～」の表現を、繰り返し使えるような授業展開や場面設定と行っていくとともに、多くの単語が出てくるため、視覚的な

ヒントや、分かりやすいジェスチャーを取り入れることで、主体的な学びにつながる工夫を取り入れた。

6 単元の計画（第2時/4時間）

	活動内容	活動のねらい	使用表現・語彙	評価基準
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・フォニックス ・歌 ・ビンゴゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・HTRとALTの会話を聞いて、英語にも丁寧な言い方があることに気付かせる。 ・ビンゴゲームを通して丁寧な言い方に慣れ親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・What do you want? ・I want ～. ・What would you like? ・I'd like～. ・料理名 ・Here you are. ・Thank you. 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じて、英語にも丁寧な言葉使いがあることに気がついて 【言語や文化に関する気づき】
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・フォニックス ・歌 ・前時の復習 ・自分の食べたいものを注文する ・自分のプレートを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HRTとALTのデモンストレーションをみて見通しを持つ ・丁寧な注文の受け答えや、値段の尋ね方に慣れる ・シェフとお客で役割を分ける ・自分の食べたいプレートを作るために、欲しい料理や飲み物を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・What would you like ・I'd like～. ・料理名 ・Here you are. ・Thank you. ・That's all. ・How much (is this)? ・It's ○yen. ・(This is ○yen.) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「What would you like?」「I'd like～.」「How much?」の表現を中心に注文を尋ねたり、欲しいものを言ったりする表現に慣れ親しんでいる。 【外国語への慣れ親しみ】
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・フォニックス ・歌 ・Let's listen 1 ・Let's listen 2 ・ロールプレイ（レストラン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰が何を頼んだのか、聞き取る ・ウェイターとお客で役割を分ける ・相手に配慮しながら丁寧な注文の受け答えや値段を尋ねる 	<ul style="list-style-type: none"> ・What would you like. ・I'd like～.” ・料理名 ・Here you are. ・Thank you. ・How much is this? ・This is ○yen. 	<ul style="list-style-type: none"> ・「What would you like?」「I'd like～.」「How much?」の表現を中心に注文を尋ねたり、欲しいものを言ったりする表現に慣れ親しんでいる。 【外国語への慣れ親しみ】
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ・フォニックス ・歌 ・Let's listen 4 ・Let's listen 5 ・Activity 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰のためにどのようなメニューを考えたのか聞き取る ・それぞれのメニューを聞き取る ・誰かのためにメニューを考えてつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・What would you like? ・I'd like～. ・料理名 ・Here you are. ・Thank you ・How much is this? ・This is ○yen. 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰のためのメニューなのかを考えながら、丁寧な表現で、聞いたり答えたりしてメニューをつくろうとしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

7 本時のねらい

- ・「What would you like.」「I'd like～.」「How much?」の表現を使って、注文を尋ねたり、欲しいものを答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 【外国語への慣れ親しみ】

8 本時の展開

活動内容	児童の活動	ティームティーチング		○指導上の留意点◎教材・機材 ◆評価の観点と方法	
		担任の活動	ALTの活動		
1 あいさつ (2分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>HRT : Good afternoon. Everyone. C : Good afternoon. 先生, 先生</p> <p>HRT : How are you ? C : I'm ○○, thank you. And you ?</p> <p>ALT : What day is it ? C : It's Friday.</p> <p>ALT : What date is it ? C : It's February 15th.</p> <p>ALT : How is the weather today ? C : It's ○○.</p> </div>				
	・挨拶をし、自分の気持ちや曜日、日付、天気を確認する。	・児童と共に発音を繰り返す。	・笑顔であいさつし、日付、曜日、天気を尋ねる。	○明るい雰囲気英語でのやり取りを楽しませる。	
2 フォニクス (10分)	<p>※前時までの復習</p> <p>① お話を聞く</p> <p>②アクションをしながら発音する</p> <p>② 文字を書く</p> <p>③ 絵の中に見えるものを発表する</p> <p>④ ALTが言う単語をリピートする</p> <p>⑤ どこで聞こえたかゲーム</p> <p>⑥ 音の復習と書き取り</p>	<p>・お話を読む</p> <p>・アクションをしながら発音する</p> <p>・児童の中を周り賞賛したり、補助をしたりする</p> <p>・児童を指名する</p> <p>・児童と一緒にリピートする</p> <p>・児童を指名する</p> <p>・児童の中を周り賞賛したり、補助をしたりする</p>	<p>・既習のフォニクスを書く</p> <p>・アクションをしながら発音する</p> <p>・児童の中を周り賞賛したり、補助をしたりする</p> <p>・単語を発音する</p> <p>・正しい発音を聞かせる</p> <p>・単語を発音する</p> <p>・文字数をいう</p> <p>・単語をいう</p> <p>・アルファベットを発音する</p> <p>・アクションをつけてアルファベットを発音する</p>	<p>◎ABC Work</p> <p>○4線に正確に書けるようにする</p> <p>○わかったら手を挙げさせて発言させる</p> <p>○4線に正確に書けるようにする</p>	
3前時の復習 (5分)	<p>・前時の活動を思い出す</p> <p>・食べたいものを答える</p> <p>・I'd like ○○.</p>	<p>・黒板にカードを貼りながら、前時の活動を振り返る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ALT or HRT : What's this? It's ○○.</p> </div> <p>・児童に食べたいものを聞く</p> <p>・What would you like?</p>	<p>・児童と一緒に発音する。</p> <p>・児童に食べたいものを聞く</p> <p>・What would you like?</p>	<p>◎食べ物カード</p> <p>○HRT・ALTがリードしながら子どもたちの記憶を喚起させる</p> <p>○Salad, Main Dish, Dessert, Drink 等種類ごとに黒板に貼る</p> <p>○あまり時間をかけずに行う</p>	

<p>5 デモンストレーション (13分)</p>	<p>HRT : Hello. ALT : Welcome. What would you like? HRT : I'd like Salad. ALT : OK! Here you are. HRT : Thank you. ALT : What would you like? HRT : I'd like French fries. ALT : OK! Here you are. HRT : Thank you. HRT : I'd like omelet, ice cream ,and coffee. ALT : OK! Here you are. HRT : Thank you. ALT : What would you like? HRT : That's all. Thank you. How much? ALT : It's 850 yen. HRT: OK. Here you are. ALT: Thank you.</p>			<p>◎名札・シェフの帽子 トレイ ・ジェスチャーを入れたり、ゆっくり話したりして、分かりやすくし、児童の実態を見ながら進める ・Salad, Soup, Main Dish等それぞれ聞いてもよいが、まとめて注文してもよいことにも気付かせる。 ・値段の聞き方に気付かせる ・次の時間にもHow much?が出てくるので、値段の答え方は日本語でもよい</p> <p>◆丁寧な言葉で注文したり、欲しいものを伝えたりすることを通して丁寧な表現に慣れ親しんでいる。 【外国語への慣れ親しみ】 行動観察 A…会話のおおまかな内容を聞き取り、進んで答えを発言している。 B…会話の一部の内容を聞き取り、単語で答えている。 C…会話の内容が言えない</p>
<p>6 表現に慣れ親しむ (12分)</p>	<p>・デモンストレーションを見て、何を話しているか考える ・ALT-STD ・STD-STD ・カードヒントにしながらデモをする。 ・繰り返す ・隣の席同士で、シェフとお客に分かれて自分のメニューを作る</p>	<p>・会話をする際に、ジェスチャーをつけたり、相槌をうったり、繰り返しをしながら演じる ・ボランティアを募る ・児童のサポートをする ・表現を確認する ・客役を担当する ・児童の活動のサポートをする</p>	<p>・ジェスチャーをつけてゆっくり、はっきりと演じる。 ・正しくリピートする。 ・S-Sの時は児童のサポートをする ・表現を確認する ・シェフ役を担当する ・児童の活動のサポートをする</p>	<p>◎料理カード、トレイ ○デモンストレーションで出てきた児童にはサポートをする ○間違えてもいい雰囲気を作る ○できた子を称賛する →ALT、HRTが支援したり、友達同士で教え合ったりする</p>
<p>7 振り返り (3分)</p>	<p>・振り返りをワークシートに書く ・終わりのあいさつをする。</p>	<p>・本時の活動を価値づける。</p>	<p>・終わりの挨拶をする。</p>	<p>○学習の価値付けを行う。 ◎OH! YA! PASS</p>